

将来の公共施設のあり方を考える

— 次世代を担う子供たちに
負担を残さないために —

日本の人口は今後、徐々に減っていくと予想され、同時に公共施設の老朽化が全国的な問題となっています。府中市でも、人口や税収が減る一方、公共施設の改修・更新に掛かる費用は増えていくと見込まれ、今ある施設をそのまま維持し続けることは難しいと考えられます。

これに合わせて、税金などの市の収入も減少していくと考えられます。

そこで、公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、将来にわたって行政サービスを維持できるように、府中市公共施設等総合管理計画を策定し、取り組みを行っています。

人口と税収は徐々に減少

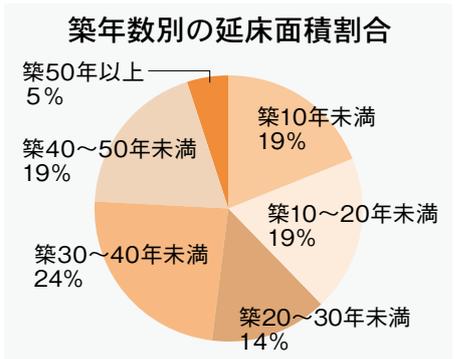
府中市の人口は、今後も減り続け、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、平成72年には、2万人を切

年齢別人口の推移

年齢	平成29年 4月1日	平成72年	人口減少率
年少人口 (0～14歳)	4,400人	1,467人	▲66.7%
生産年齢人口 (15～64歳)	21,805人	8,549人	▲60.8%
老年人口 (65歳以上)	14,407人	8,329人	▲42.2%
合計	40,612人	18,345人	▲54.8%

進む公共施設の老朽化

府中市の公共施設は、築



30年以上の施設が全体の半数近くを占めています。これらの施設は老朽化が進み、同時期に修繕や建て替えが必要になります。

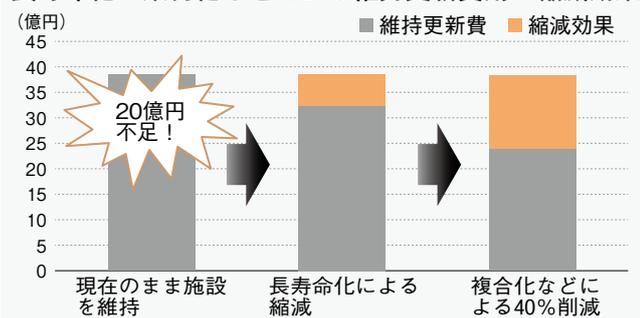
40年後の施設面積を 40%削減します

インフラ施設を含む現在の公共施設の維持更新費用は、今後40年間にわたって毎年38・2億円必要となります。それに対して、維持更新費用に充てることのできる経費は、将来18・3億円しかありません。

この課題を解決するため、次の取り組みを行います。

- ▽ 40年後の施設面積を現在の40%削減します。
- ▽ 人口動態に対応した施設の複合・集約化を進めます。
- ▽ 施設の長寿命化により、維持更新に掛かる費用を抑えます。

長寿命化・集約化などによる維持更新費用の縮減効果



課題解決を先送りにすれば、子や孫の世代に大きな負担を押し付けることとなります。

取り組み目標を計画的に実行し、公共施設の維持管理の適正化を進めていきます。

問い合わせ先 企画財政課 (☎437118)

府中市立湯が丘病院 職員採用試験

■ 募集受付期限 12月18日(月)

※詳しくは、募集要項をご覧ください。府中市ホームページからもダウンロードできます。募集要項の配布・受け付けは、土・日曜日を除きます。

職種	募集人数	受験資格 (学歴および国籍は問いません)
看護師	若干名	昭和48年4月2日以降に生まれた人で、看護師免許を取得済み、または平成30年中に取得見込みの人
作業療法士	1人	昭和58年4月2日以降に生まれた人で、作業療法士免許を取得済み、または平成30年中に取得見込みの人

申し込み・問い合わせ先

府中市立湯が丘病院事務局

(〒729-3423府中市上下町矢野100

・☎62-2238)